

コンクリート改質剤 CS-21

水和反応活性剤

Since 1993



製品概要

外 観	無色透明・液体
主 成 分	けい酸ナトリウム
比重(密度)	1.24~1.28 (g/cm ³)
p H 値	11.3~12.3
乾燥固形分率	31.5~33.5%

躯体防水材・けい酸塩系表面含浸材

CS-21は、硬化コンクリートに塗布等で浸透させることで、コンクリート中のカルシウム成分等と安定した反応物(CSH結晶)を生成して、空隙を充填します。

また、未反応の主成分は、乾燥固化後も水分の供給により溶解し反応物を生成して施工後新たに発生する微細なひび割れ等の空隙を充填します。

これらの反応により、ひび割れ深部を含む表層部の空隙を緻密化し、水や各種劣化因子の侵入を長期にわたり抑制します。

◇ 水和反応活性剤を含有しており、コンクリートの材齢を問わず効果を発揮

◇ コンクリート構造物（駐車場・屋上・地下・水槽等）の躯体防水が可能

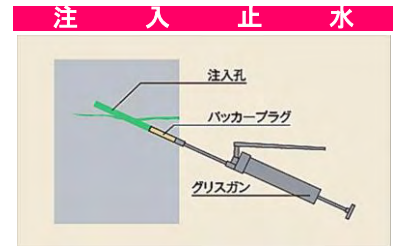
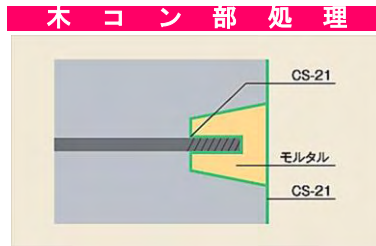
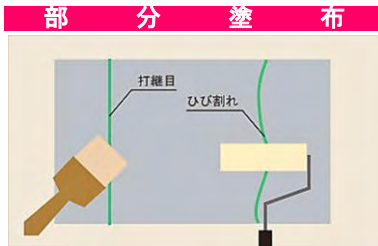
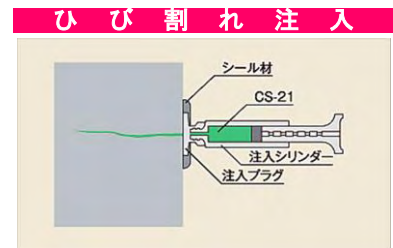
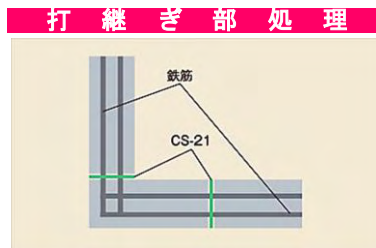
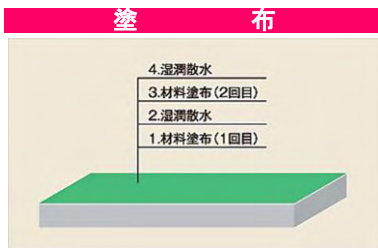
◇ かぶりコンクリートを健全に保ち、鋼材腐食を抑制して構造物を長寿命化



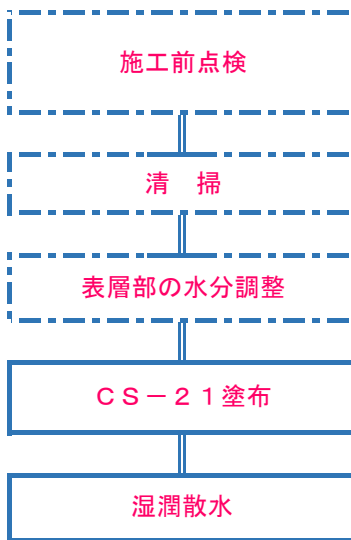
<https://cs21.jp>



工 法 概 要 図



塗 布 工 法 施 工 手 順



前処理・付着物除去状況などを目視点検し、適切な状態であるか確認

- ・ ひび割れ注入、断面修復が必要な箇所は、別途処理
- ・ 表面に、はく離剤等の油脂類、さび、レイタンス、苔、既存の表面被覆材等が付着している場合は、高圧洗浄・サンダーケレン等より除去

表面のほこりや汚れを水洗い等により清掃

表面の乾燥状態が、指触乾燥^{*}状態であることを確認し次工程へ移行
(乾燥している場合には散水、濡れている場合には乾燥を待つまたは強制乾燥)

表面の指触乾燥^{*}確認後、CS-21をローラー刷毛等で塗布し、浸透させる
・ 標準仕様^{**}CS I 工法: 200 g/m²×1回, CS II 工法: 150 g/m²×2回 (ロスを含まない)

塗布したCS-21の指触乾燥^{*}確認後、湿潤散水(粘度を調整し浸透を促進させるための散水)を実施

湿潤散水後、表面の指触乾燥^{*}を確認し、施工完了^{***}

^{*} 指触乾燥 : 表面を指で触った際に、指に液体がつかず、湿り気を感じる程度の乾燥状態

塗布・散水から表面が乾燥するまでの時間は、気象条件等の影響を受けるため、目視および指触により確認する。(塗布・散水から表面が乾燥までの時間の目安: 約30~90分)

^{**} 塗布量・塗布回数は、適用するコンクリートの表層部の状態により増減する場合あり(標準仕様ロス率5%)

- ・ CS I 工法: 主に新設構造物の表面保護、CS II 工法: 主に既設構造物の表面保護・躯体防水
- ・ CS II 工法(2回塗布)の場合は、1回目の湿潤散水後、塗布・湿潤散水を繰り返す

^{***} 表面乾燥直後より歩行・車両通行可能。屋外で雨水・霧等による水分供給がある場合は、曝露状態のまま、特に追加処理の必要なし(躯体防水の場合は、塗布工完了後、初期の乾燥を防ぐ、湿潤養生を推奨)

NETIS 情報

NETIS登録番号: **CB-020055-VR** (登録期間: 2003年2月~2017年3月 **期間満了につき掲載終了**)

技術の位置付け: 設計比較対象技術(選定期間: 2013.3.7~2016.1.21 従来技術変更のため期間終了)

活用効果評価結果(3回目): 従来技術(表面被覆工法)に比べて活用の効果は優れている。また、活用の条件の違いに対する評価の安定性を有し、多くの現場で良い評価を得ている。

◆ 詳細については、アストンオフィシャルウェブサイト[<https://www.cs21.jp>]をご参照ください。◆

製造・販売元



株式会社 アストン

岡山県岡山市北区矢坂本町14-16 〒700-0075

TEL. 086-255-1511 FAX. 086-251-3270

URL <https://www.cs21.jp>

